

J-BIRD（概要）

平成24年3月22日 在フィリピン日本大使館

1. J-BIRDとは

- J-BIRD (Japan-Bangsamoro Initiatives for Reconstruction and Development) とは、2006年12月の安倍総理（当時）のフィリピン訪問時に立ち上げられた、ミンダナオの平和と安定に資する日本の支援の総称。過去5年間の支援合計額は、約120億円。

2. 無償資金協力

- 草の根・人間の安全保障無償：J-BIRD 立ち上げに伴い、ミンダナオ紛争影響地域での集中的実施を決定。2006～2010年度までに計50件（計4.1億円）実施。2011年度には計8件署名（計0.73億円）。案件内容は、小中学校校舎、職業訓練所、給水設備、保健施設の建設・補修など。
- 日本 NGO 連携無償：これまでに計4件（計1.17億円）実施。案件内容は学校建設など。
- WFP 経由の IDP（国内避難民）に対するコメ支援（配布2009年1月～1年間、8.6億円）
- WFP 経由の IDP に対する食糧支援（2011年度、70万ドル）

3. 技術協力プロジェクト（実施済み／実施中の案件）

- ARMM 地域開発シニアアドバイザー：2006年よりこれまで計3人のJICA専門家をARMM政府に派遣。対ARMM支援事業の運営・管理やARMM政府に対する助言を実施。
- ARMM 人材育成プロジェクト（2008年5月～、6.0億円）：行政管理や経済開発等の分野におけるARMM行政官の能力向上を支援。
- ミンダナオ平和と開発のための地形図作成プロジェクト（2010年～2012年、13億円）：ミンダナオ全土の地形図を作成。
- ARMM 地場産業振興調査（2010年4月～2011年度8月、2.4億円）：地場産業推進による地域経済活性化戦略を策定。
- ARMM 地域稲作中心営農改善プロジェクト（2005年2月～2010年2月、1.6億円）：農家の生計向上を目的に約4,000戸の農家を対象に営農指導を実施。
- ミンダナオ紛争影響地域社会経済復興支援調査（2007年3月～2009年11月、6.3億円）：紛争影響地域の復興・開発の促進及び貧困削減のための開発計画を策定。
- ムスリム・ミンダナオ自治区インフラ（道路網）開発調査（2008年9月～2009年7月、3.0億円）：持続可能な経済開発に資するインフラ開発計画の策定や、運営維持管理に関する人材育成計画の策定などを実施。

4. 有償資金協力

- ARMM 社会基金事業（2004年～2012年、24.7億円）：世銀との協調融資で実施。村落対象の小規模インフラ整備とより規模の大きいインフラ整備を、ARMM地域内で実施中。案件内容は、多目的センター、給水施設、乾燥施設、農業倉庫、小中学校、村落道路の建設・改修等（2012年12月までに追加30件の支援を拡大予定）。
- 中部ミンダナオ道路整備事業（2004年4月～2011年12月、37.17億円）

5. ノン・プロジェクト無償見返り資金事業

- 日 ARMM 友好会館及び研修施設、ARMM 道路網改善のための機材供与、公立高校へのパソコン給付プロジェクトの3件（計3.4億円）を2009年6月に承認。

6. その他

- ミンダナオ国際監視団（IMT）への要員派遣：2006年よりこれまで日本政府から計5人のアドバイザーを派遣。

（了）